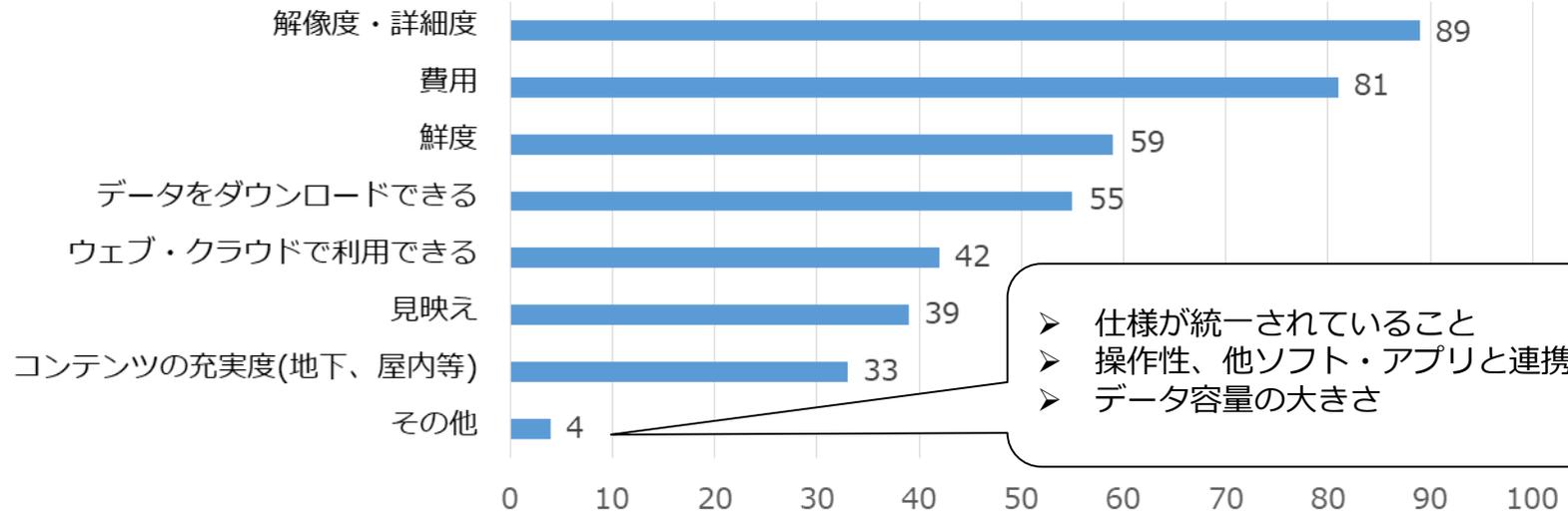
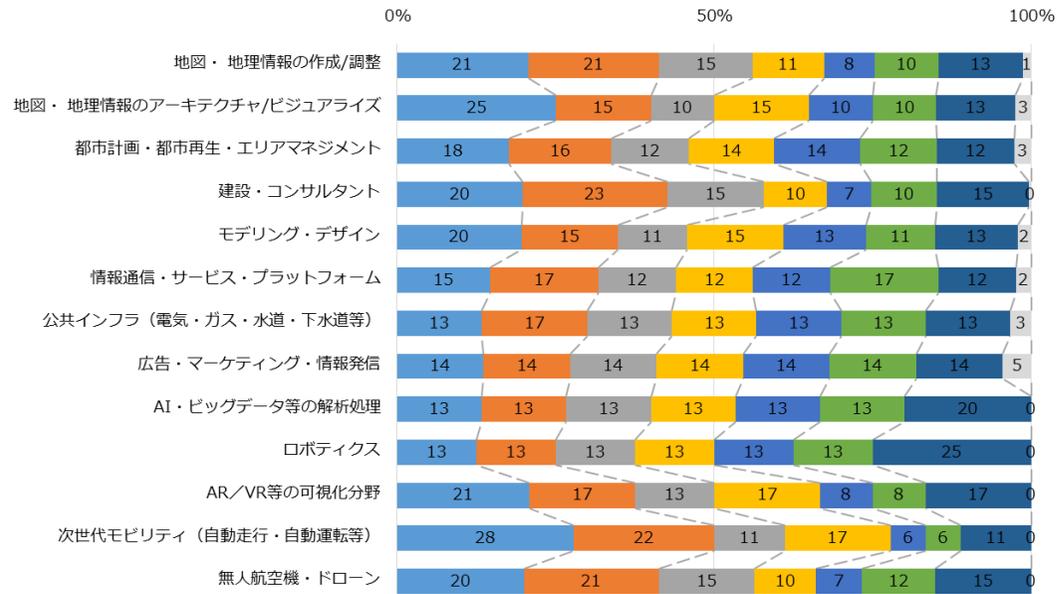


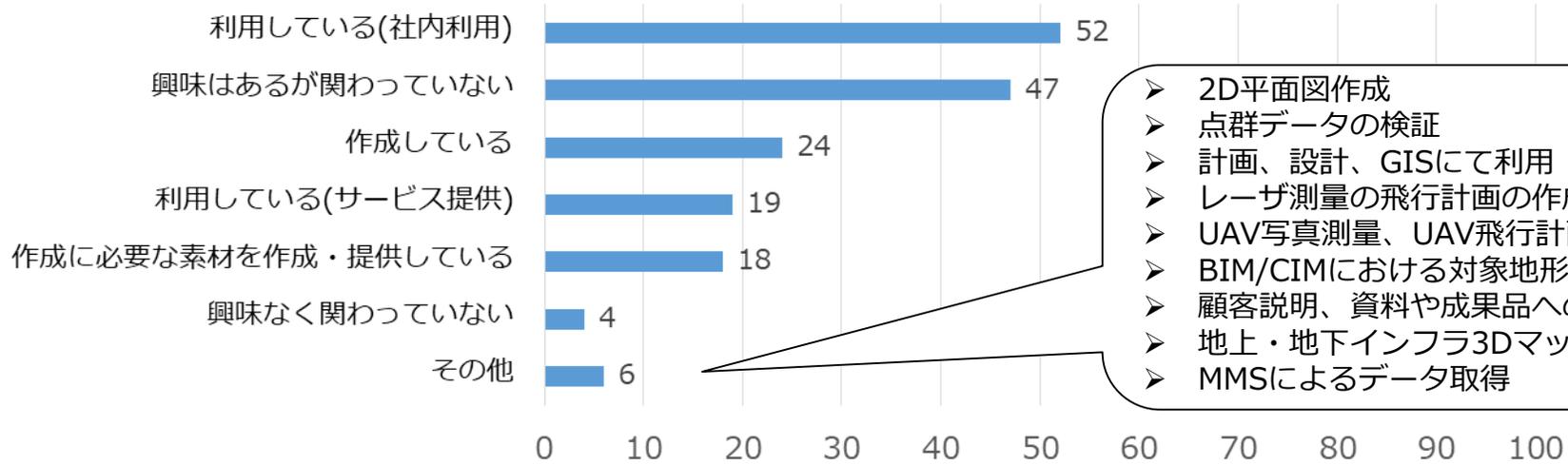
3Dデジタルマップで重視するポイント



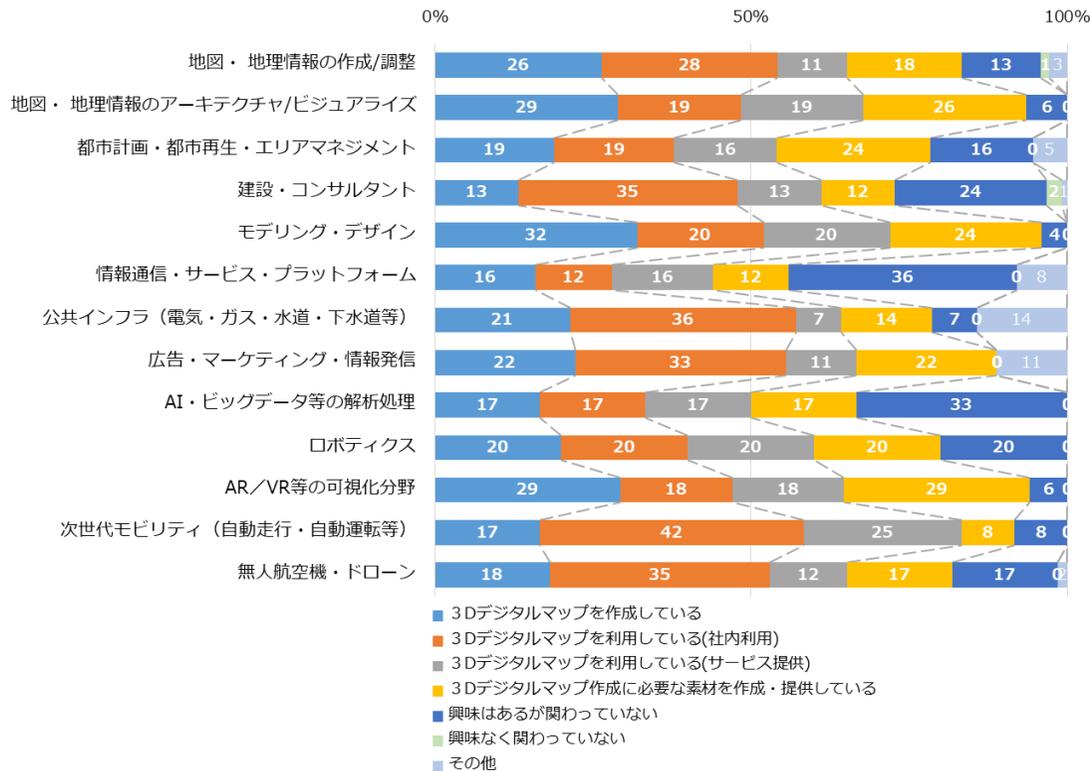
- 仕様が統一されていること
- 操作性、他ソフト・アプリと連携できること
- データ容量の大きさ



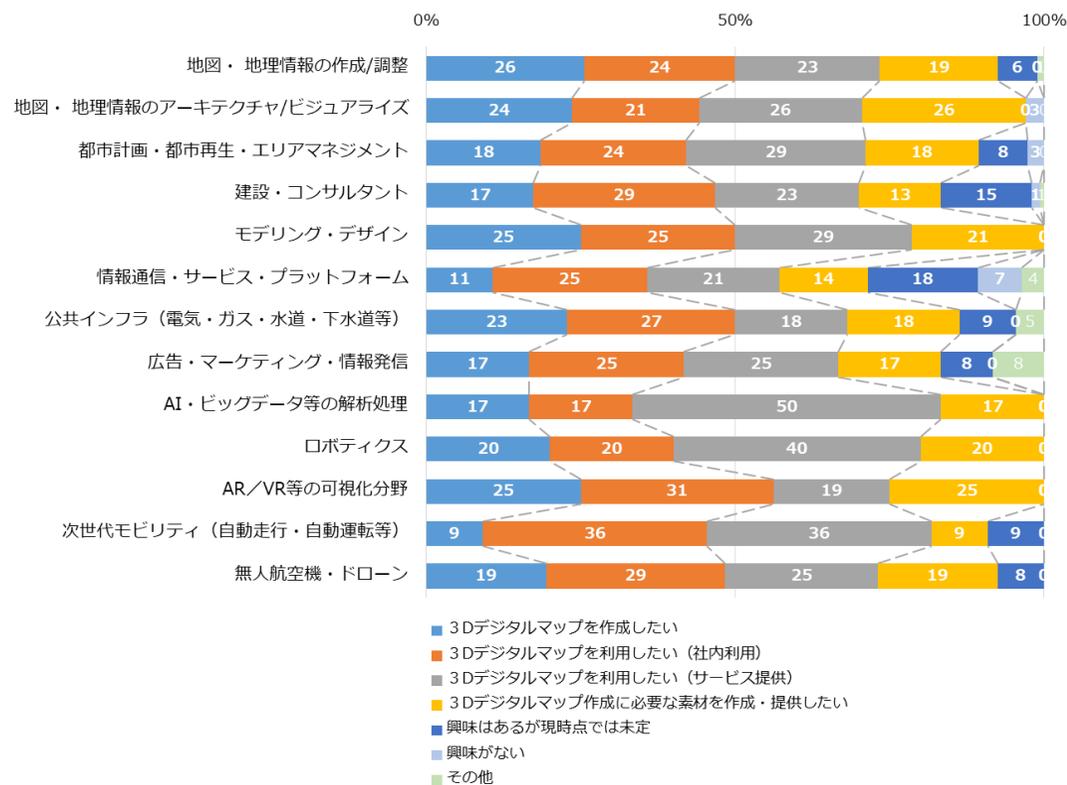
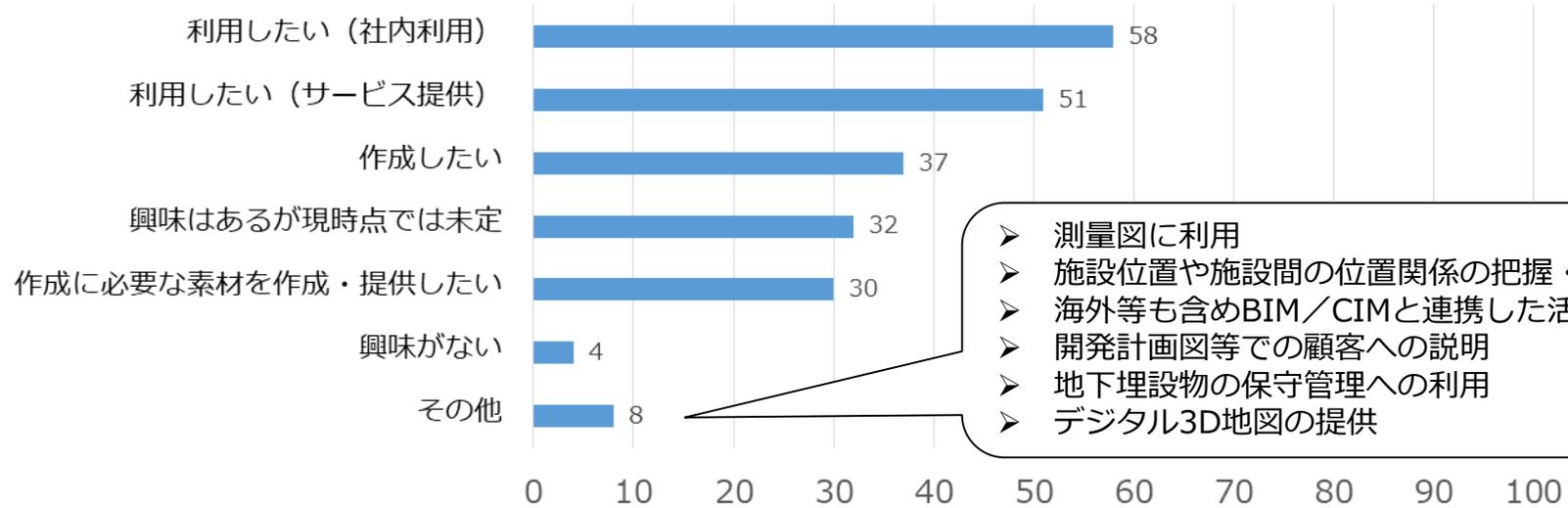
現在の3Dデジタルマップの関わり



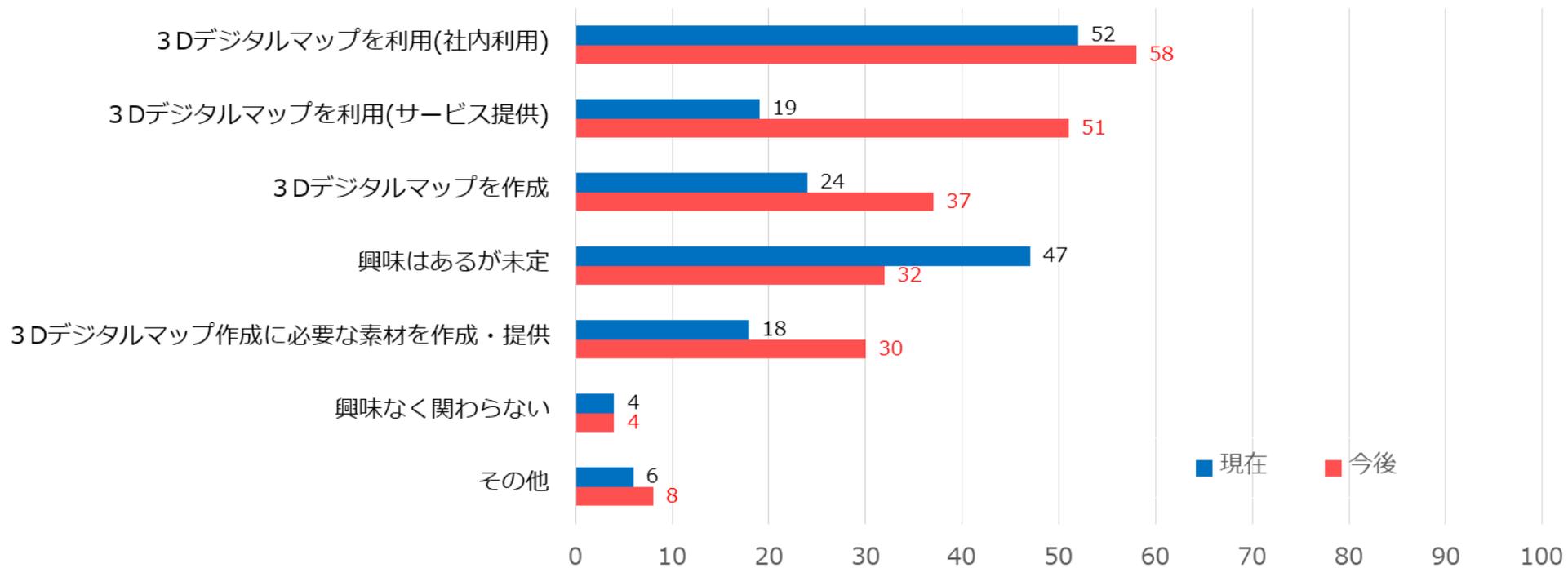
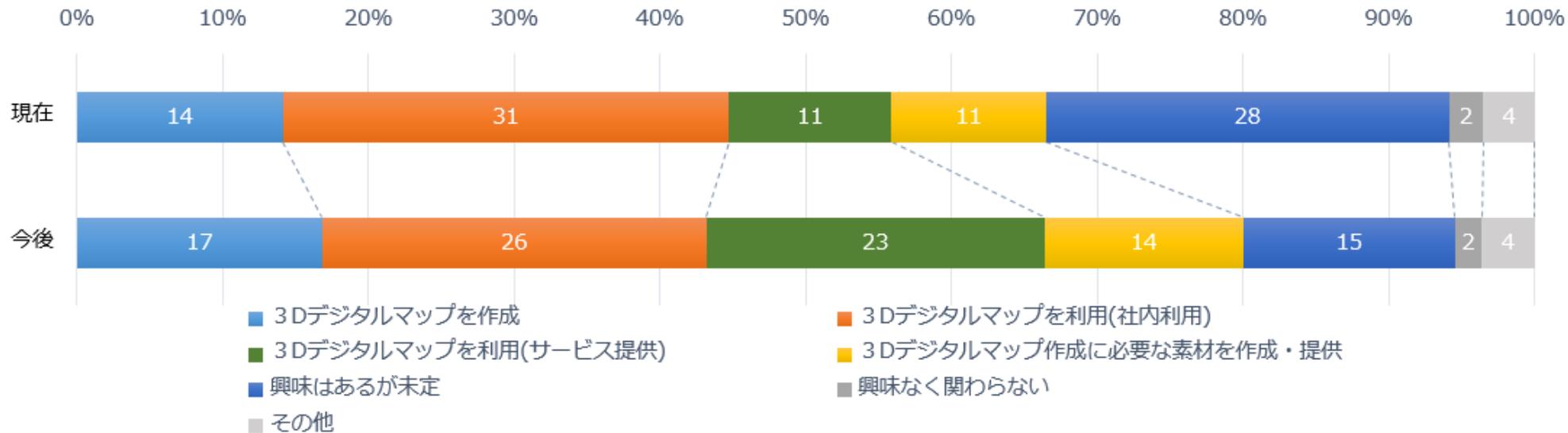
- 2D平面図作成
- 点群データの検証
- 計画、設計、GISにて利用
- レーザ測量の飛行計画の作成の参考に利用
- UAV写真測量、UAV飛行計画等への利用
- BIM/CIMにおける対象地形、構造物の3次元化
- 顧客説明、資料や成果品への転載
- 地上・地下インフラ3Dマップの作成
- MMSによるデータ取得



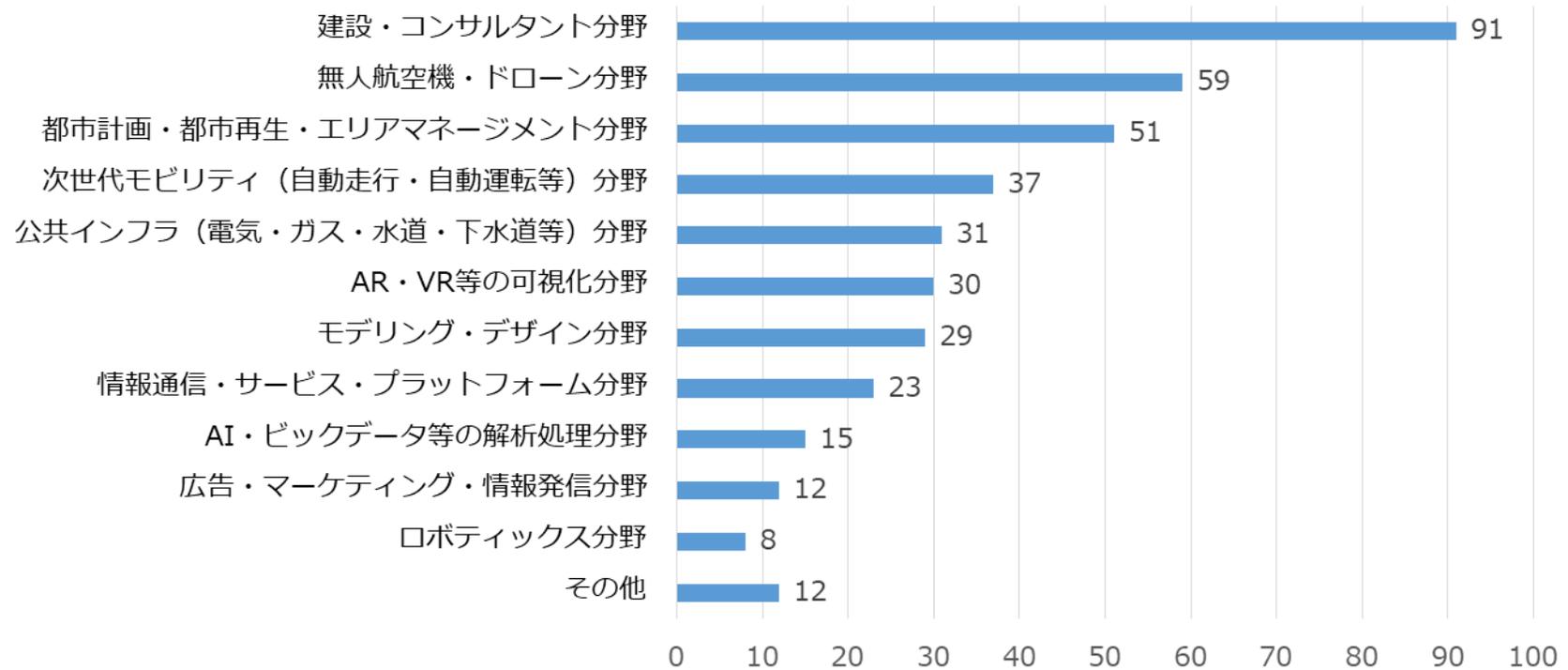
将来の3Dデジタルマップの関わり



3Dデジタルマップの関わり 現在と将来の比較



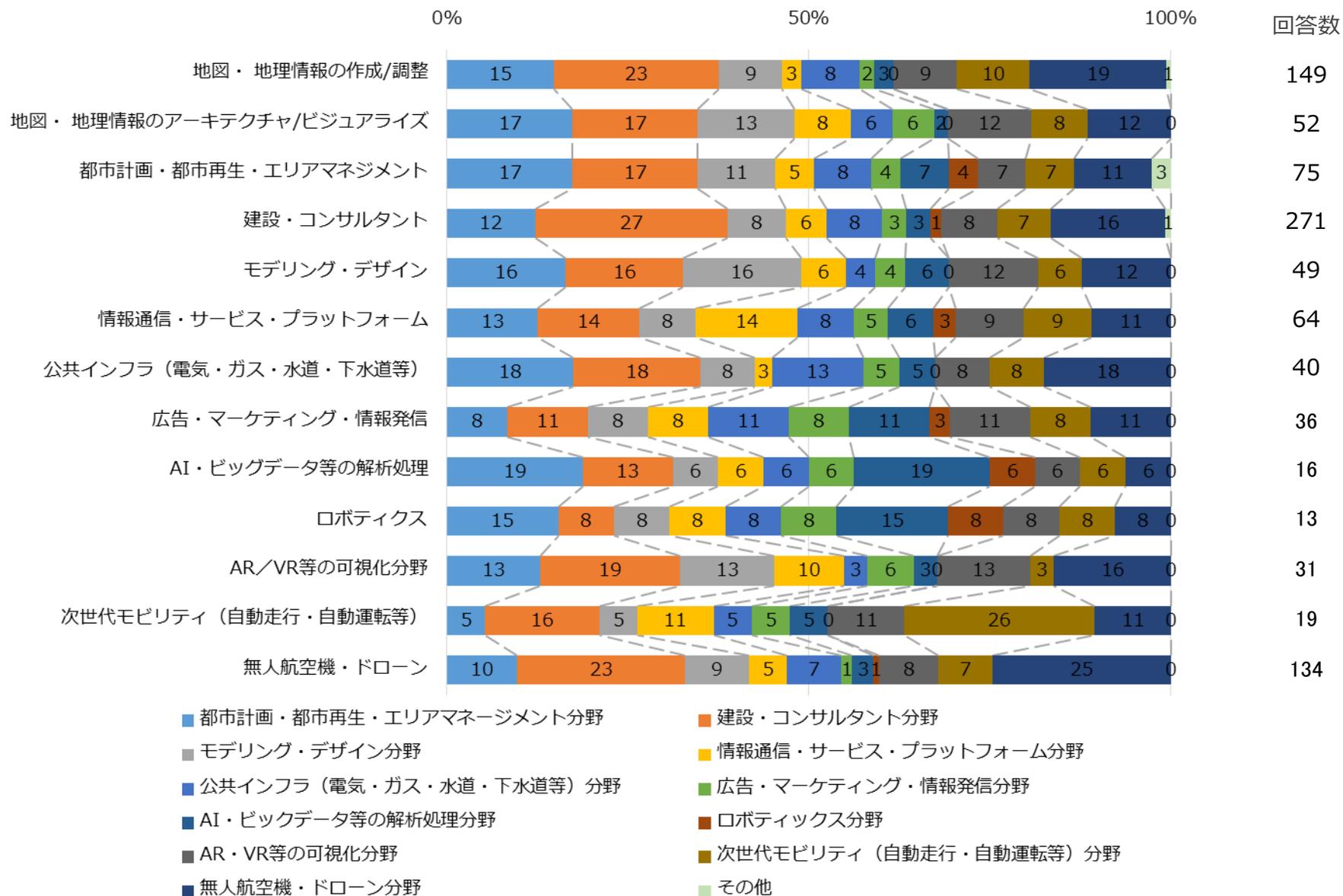
3Dデジタルマップの活用分野 現在



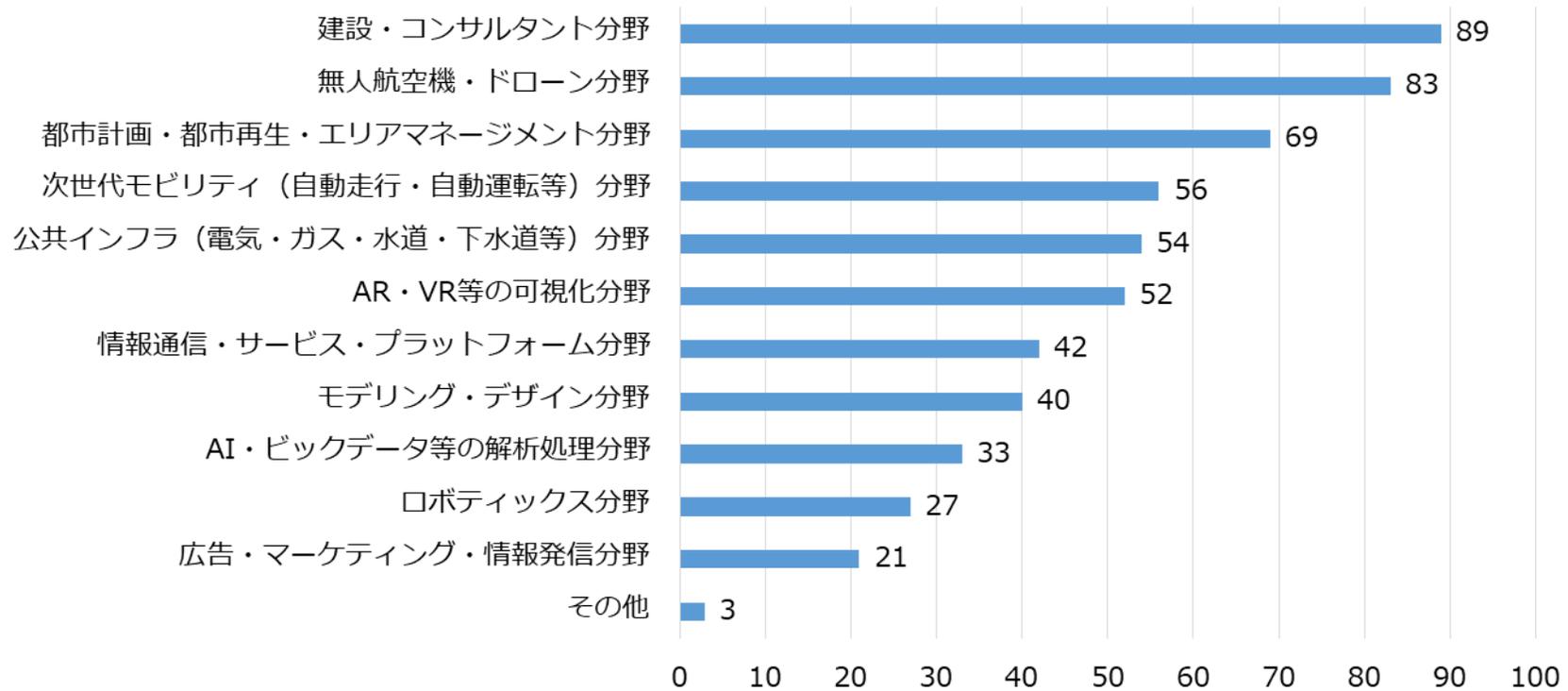
- その他/詳細

- 測量地形図に利用
- 地方公共団体での活用
- BIM/CIM分野での活用
- UAVやTLSによる3D地形測量
- 地上・地下インフラ施設の管理

3Dデジタルマップの活用分野 現在

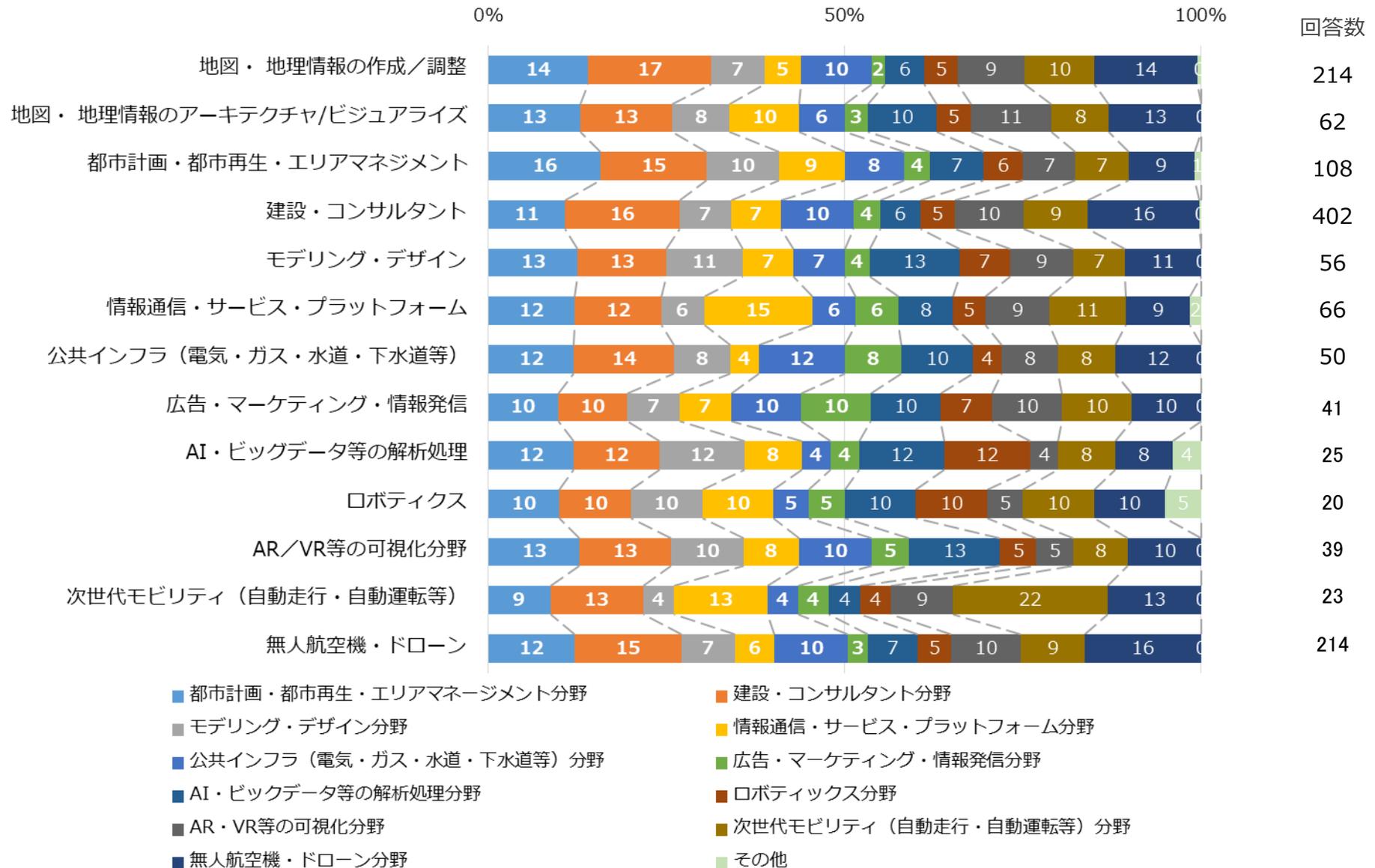


3Dデジタルマップの活用分野 将来

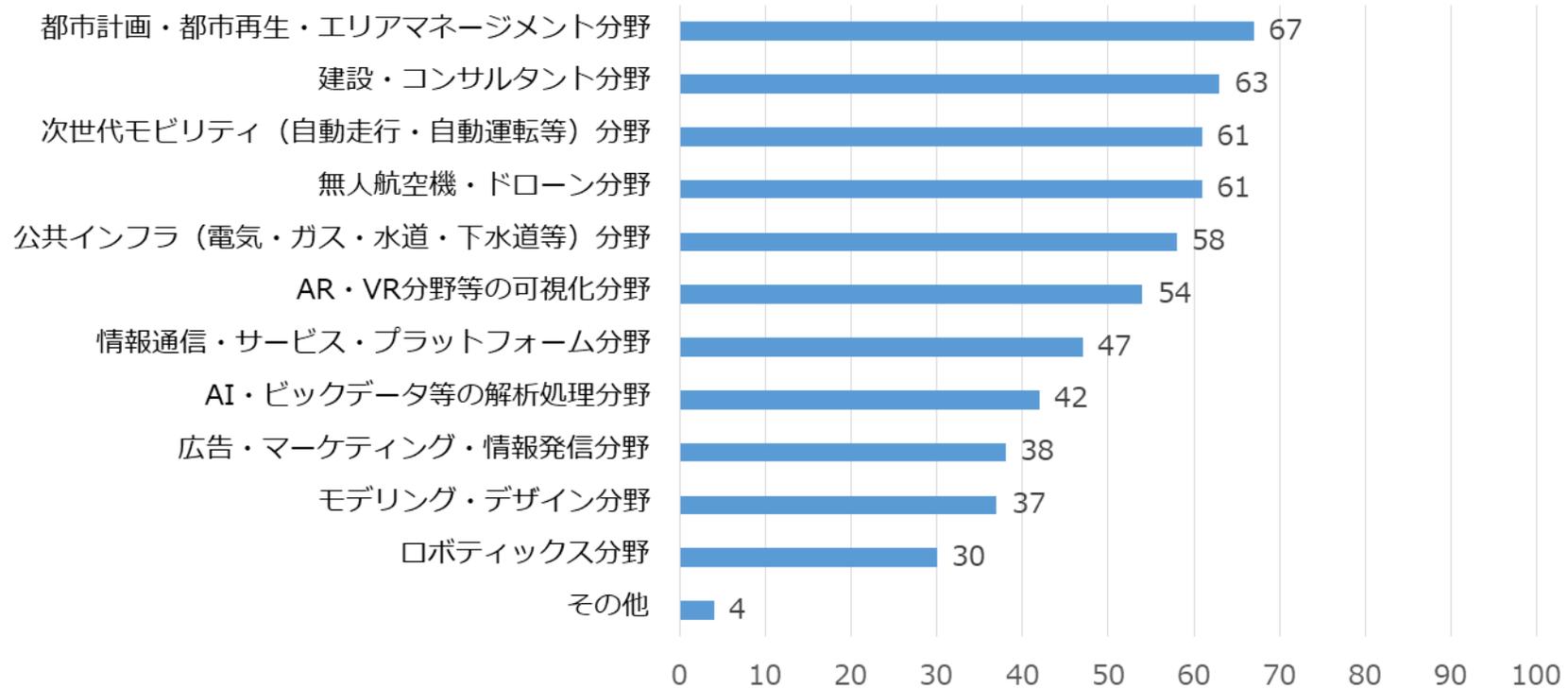


- その他/詳細
 - 衛星測位の高精度化（マルチパス低減対策）への活用
 - 防災分野への活用
 - 地方公共団体での活用
 - 自動運転
 - 地方公共団体での地名辞典整備の3次元対応

3Dデジタルマップの活用分野 将来

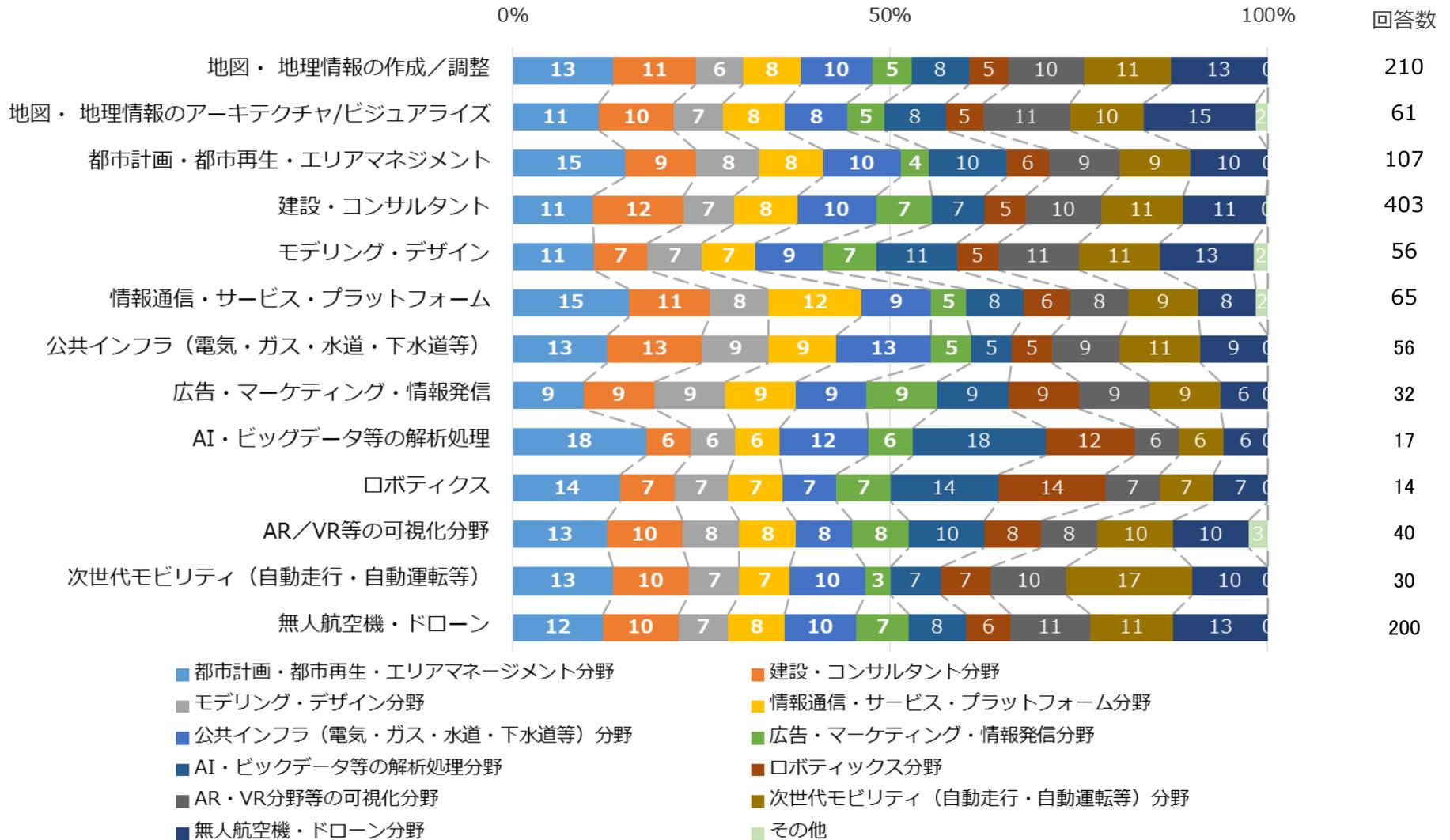


一般社会が期待すると思われる3Dデジタルマップの活用

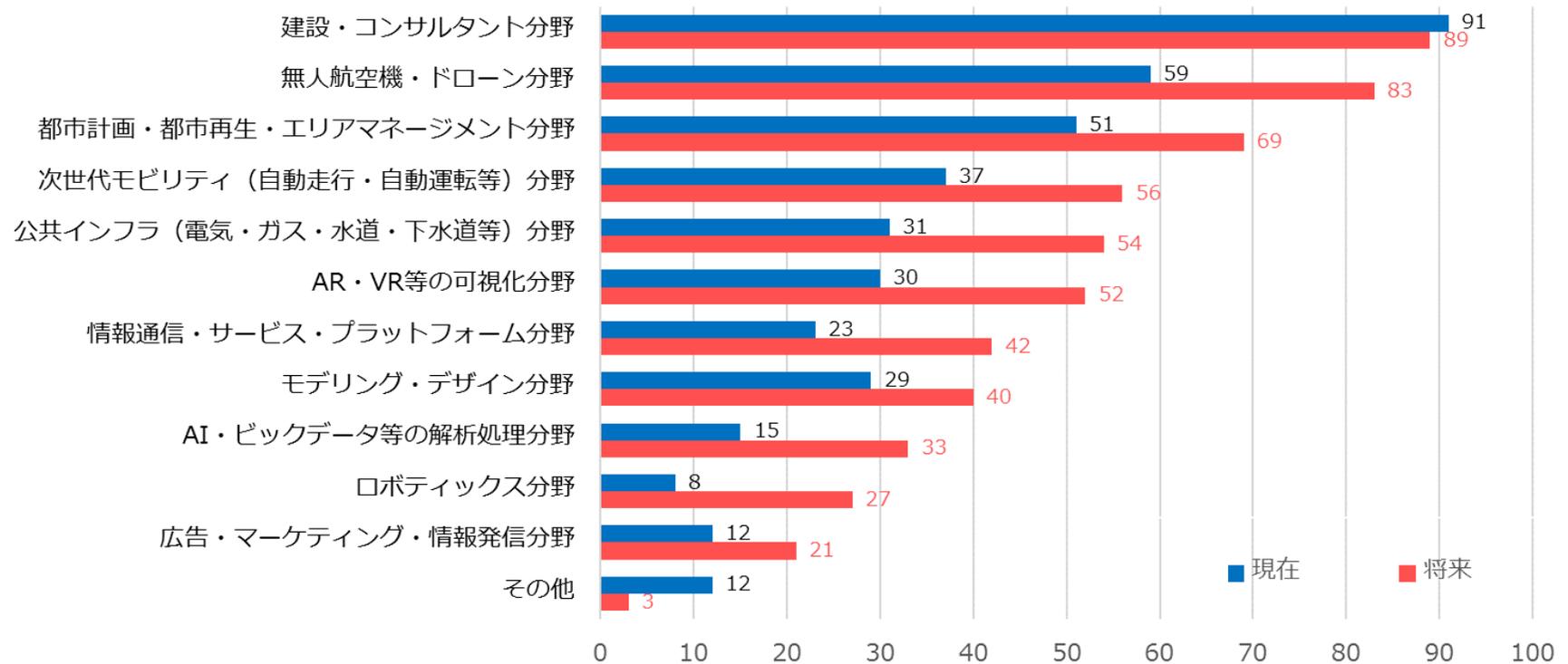
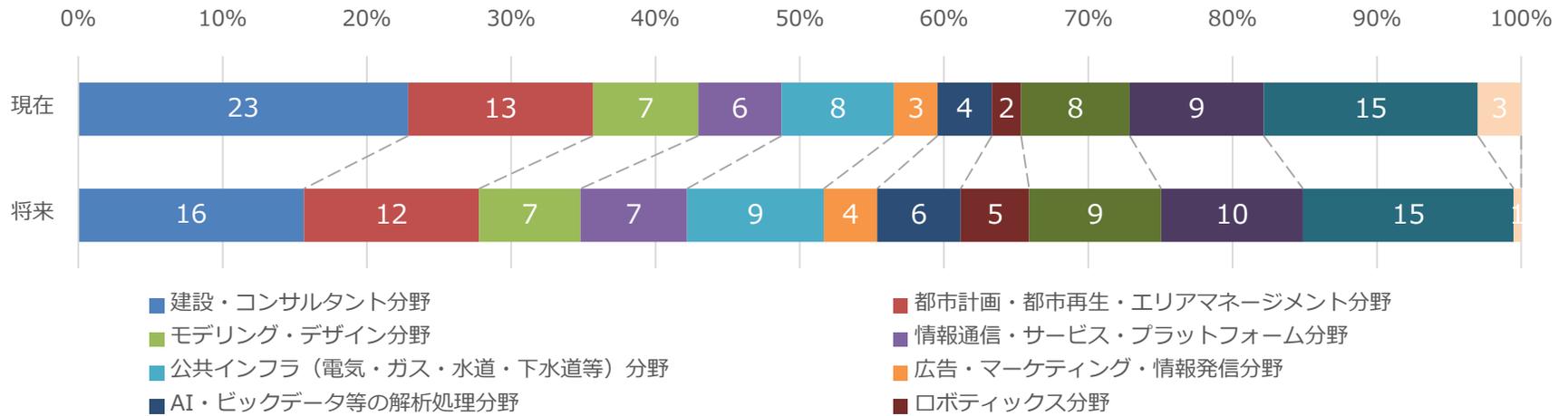


- その他/詳細
 - 防災分野
 - スマートシティ分野におけるマーケティング
 - インフラ分野の計画立案

一般社会が期待される3Dデジタルマップの活用

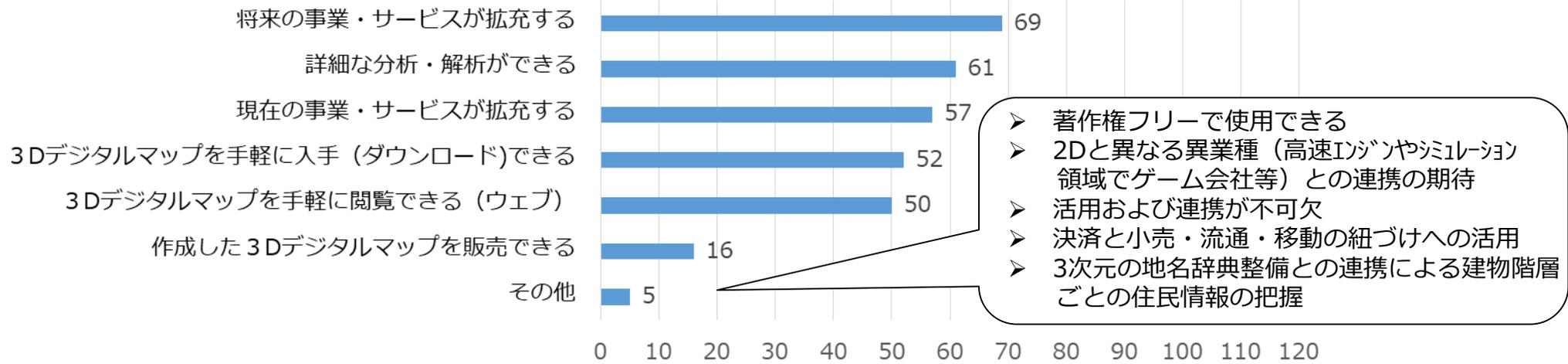


3Dデジタルマップの活用 現在・将来の比較

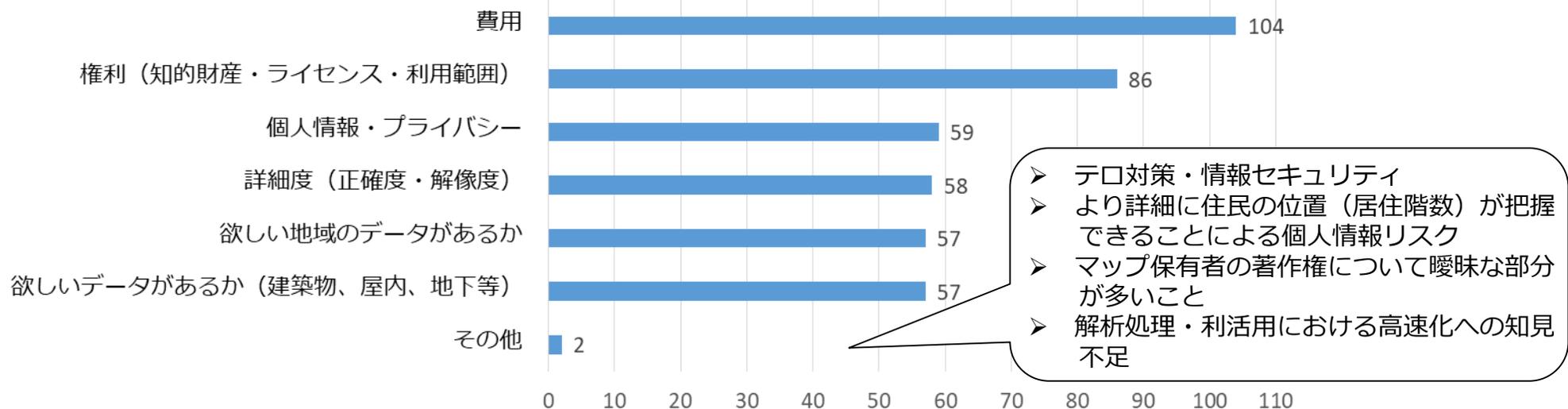


3Dデジタルマップの活用促進に向けた課題認識等

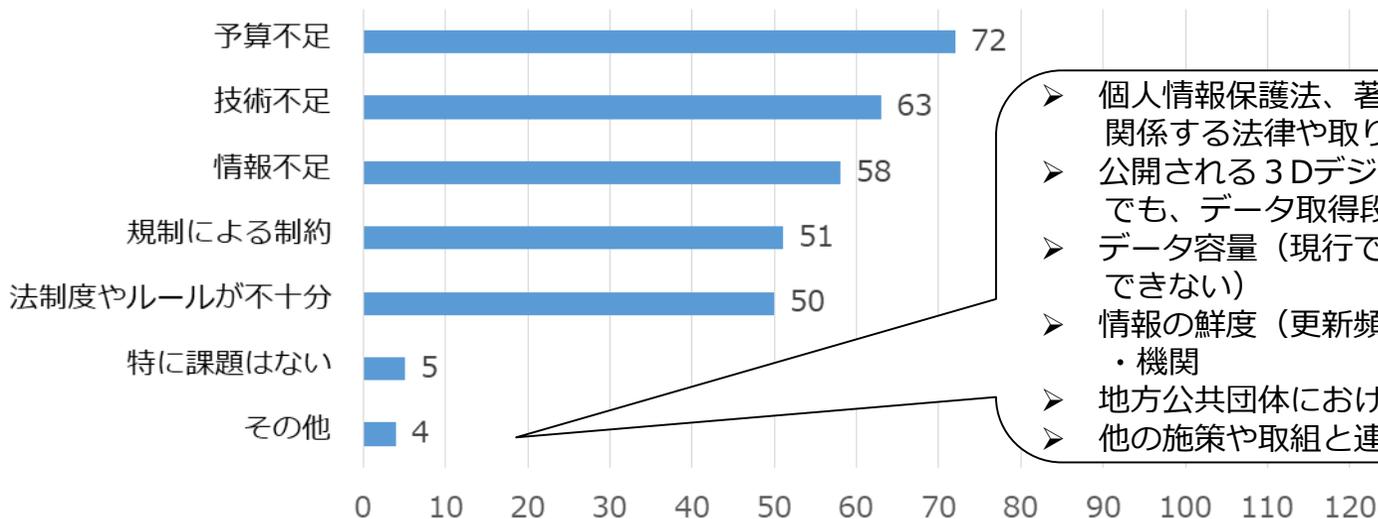
<3Dデジタルマップの活用促進に向けたインセンティブ>



<3Dデジタルマップの活用促進に向けた制約/リスク>

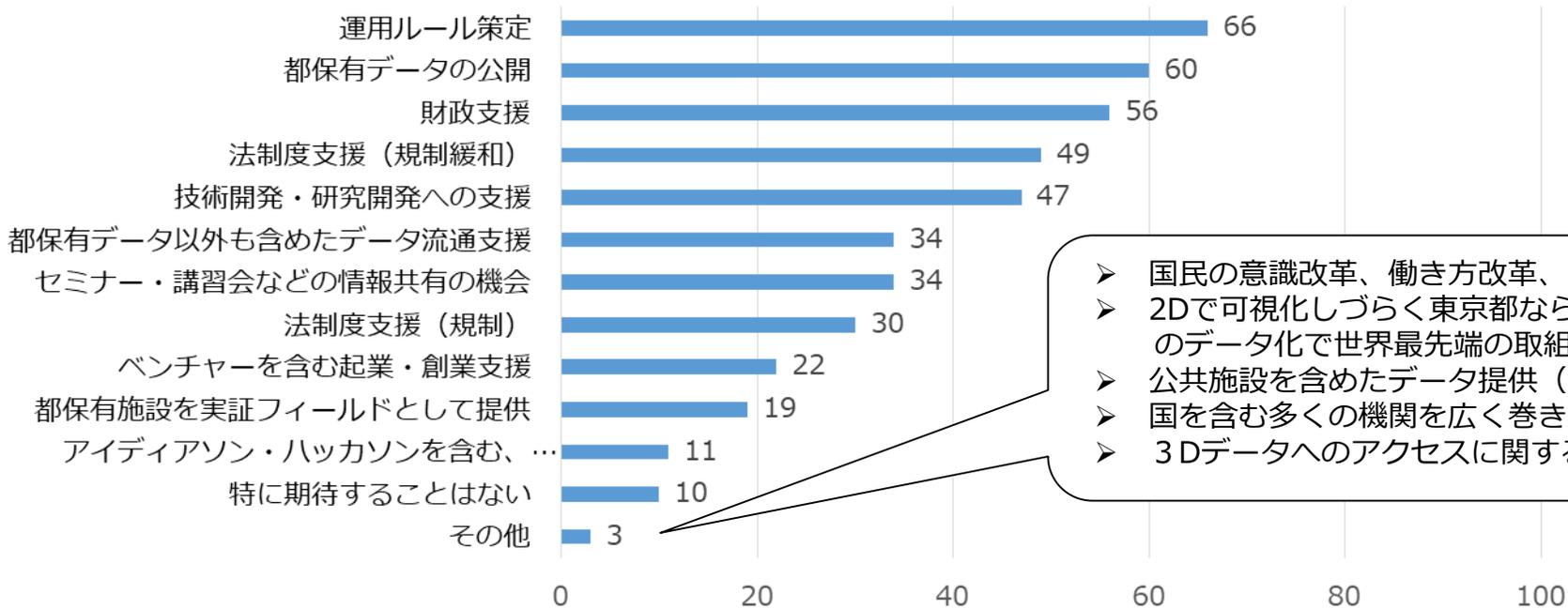


<3Dデジタルマップの活用促進に向けた課題認識>



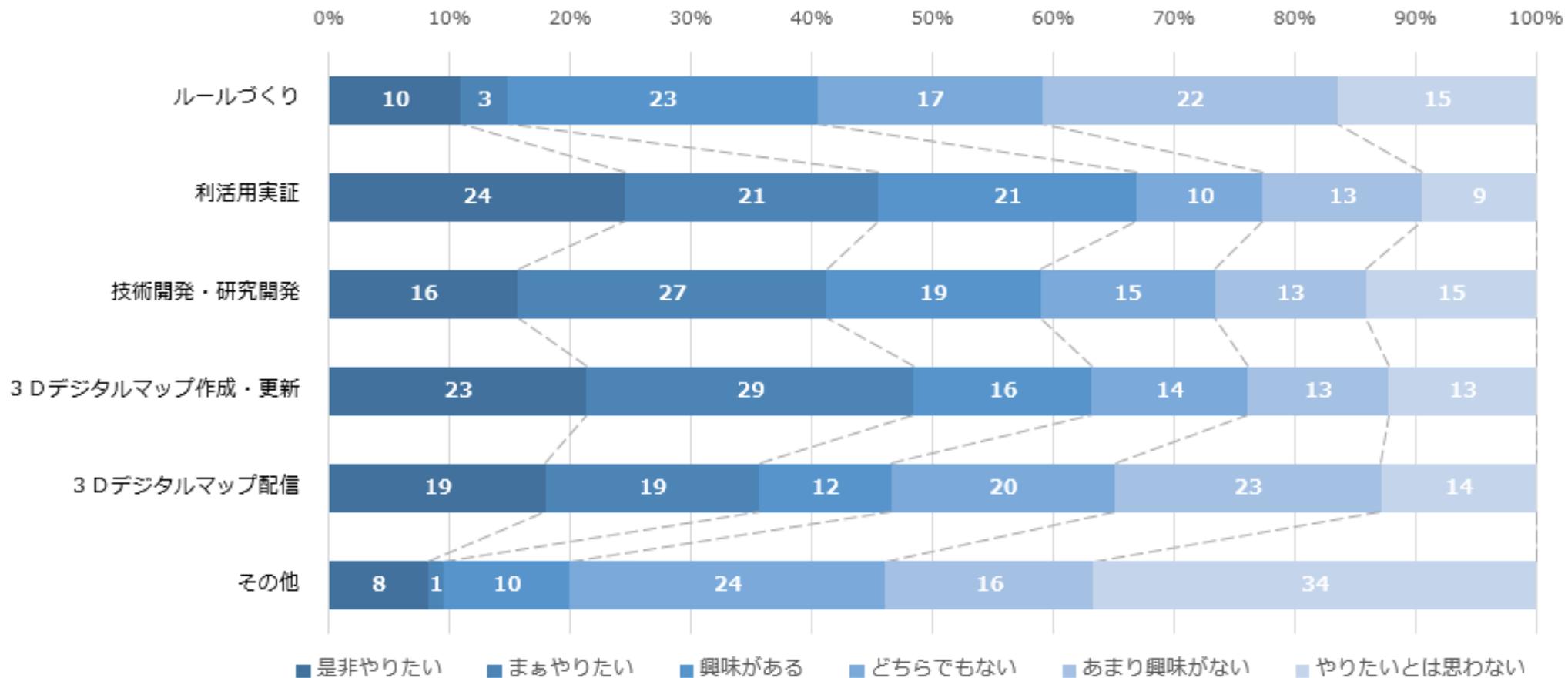
- 個人情報保護法、著作権法、著作権などの制約、国内と海外との関係する法律や取り扱い方の違い、活用ルール
- 公開される3Dデジタルマップに個人情報が含まれていない場合でも、データ取得段階では個人情報が含まれる
- データ容量（現行では大きすぎるため端末等でスムーズに利用できない）
- 情報の鮮度（更新頻度）、3Dデジタルマップの更新を行う主体・機関
- 地方公共団体における3Dデジタルマップの整備コスト
- 他の施策や取組と連携した制度設計

<東京都に期待すること>



- 国民の意識改革、働き方改革、活用事例の提供
- 2Dで可視化しづらく東京都ならではの地下街やビル屋内のデータ化で世界最先端の取組
- 公共施設を含めたデータ提供（オープンデータの推進）
- 国を含む多くの機関を広く巻き込んだ形での取り組み
- 3Dデータへのアクセスに関する法令整備

東京都と共同で実施したい事項



- 詳細

- 3Dデジタルマップ上での解析やシミュレーションなどの活用実証
- 地下埋設物管理（インフラ施設管理）への活用
- 3Dデジタルマップに利用可能な3次元の地名辞典整備の検討、利用のルール作りや活用実証

今後の協力

